

ガスふろがまやガス瞬間湯沸器の**火災**に注意

事故の概要

【事例①】屋内式ガスふろがまを使用し1時間ほど経ったところ、警報器が作動したため確認すると、製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。

【事例②】使用者がシャワー中に異音に気づき確認したところ、屋内式ガス瞬間湯沸器を焼損する火災が発生していた。



事故の原因

【事例①】長期使用(約25年)により、パッキンが劣化し、浸入した水でガス連絡管が腐食し、穴が開いたため、漏れたガスにバーナーの火が引火して火災に至ったものです。

【事例②】長期使用(約23年)により、給気ファンに多量の煤が付着して燃焼空気が足りなくなり、かつ排気通路である熱交換器内が煤で閉塞したため、未燃ガスが機器内に滞留し、異常着火して機器内部が焼けたものです。



屋内式ガス瞬間湯沸器の爆発着火の様子(イメージ)



事故防止のために

◆屋内式ガスふろがまと屋内式ガス瞬間湯沸器は、「長期使用製品安全点検制度」の対象製品です。購入時に、所有者登録をしてください。また、制度が始まった平成21年4月1日以前に製造・輸入された製品も製造時期を確認して、メーカーの点検を受けてください。

◆ガスふろがまやガス瞬間湯沸器に点火不良やガス漏れなどの様子がみられたら、使用を中止してメーカーによる点検を行ってください。

